

市民文芸

歌壇

岩崎 聰之介 選

しぐるれど差しくるひかり桜樹の濡れて舞う  
葉の赤ががやかす 鈴木 茂子  
ながいこと引き出しの隅でこめんない思  
交わしたりし文東黄ばむ 後藤 淑子  
グツグツと鍋の夜には家族みな火照りたる  
顔湯気につつまる 遠藤 舞  
選挙には棄権せしことなかりしが風邪に臥し  
をりまこと口惜し 高子うぶん  
同級会の音頭とりたる君今は亡し残り少なき  
会員を数う 阿部はぎの  
暮れなづむまはりは見ず山に山の端の残る夕映  
え見つめて歩く 阿部みさ子  
霜月の雨にうたれて一昼夜ひしとふんばる小  
さき蝶蝶 寺崎 悦子  
山茶花に義母の命日気づかされ御稲荷さんを  
供えんとする 鈴木久美子  
路地のサザンカ群れて赤白朝夕と道ゆくひと  
らを和ましおらん 佐藤喜和子  
仏壇に菊花手向けその香り届けとばかり無心  
に祈る 末吉アツ子

俳壇

山家 弘子 選

鎮魂の彼方に架かる冬の虹  
節々の太き夫の手障子貼る 寺崎 悦子  
窓開ける楽しみ隣の山茶花よ 大庭美智子  
大樫はだかとなりし木の葉雨 岩松 隆志  
石階を登りきつたる花八手 別当内信夫  
南天の影を映してゐる障子 後藤 淑子  
本読みの釣瓶落しにふと気づき 末吉アツ子

柳壇

四電 英夫 選

つつましき暮らしをおそう消費税  
目標の八〇〇受賞する 斎藤 典子  
仏滅の日に佳きことが迷い込む 大庭美智子  
充電をしても動かぬとになり 阿部はぎの  
様々な思惑巡る水田町 寺崎 悦子  
オレオレと詐欺の仲間おおいちやん 草野 清  
減反をあわだち草にふんどられ 大庭 良子  
微笑んで嘘聞き流す生き上手 菅野ちさよ  
師走にはなぜか第九を歌う人 遠藤 行夫  
エアコンを消してはつける経済家 佐久間とみ子

初雪の一寸ほどにつもりたる  
故郷を奏でるオカリナ冬の星  
蔵王嶺の白く粧ひ山眠る

跡部 祐子  
和田 游稀  
高子うぶん

【評】一句目、震災の津波で一瞬の中に命を落とした人のことを思うと胸が締め付けられる。被災地をやつと訪れた。何一つない荒寥とした景に息をのみ、涙がこぼれた。ふと仰ぐと今生まれたばかりの冬の大きな虹が匂うばかりである。その虹がいつまでも噴いていないで前向きに生きてほしいという、亡くなった人たちのメッセージに思えた、救いのある句。  
二句目、自分が貼るとシワになってしまつた。夫が貼る障子はシワ一つなく美しい出来栄になる。武骨な手をしていのに何をしても器用で、感心するばかりである。  
三句目、冬になると庭の花も枯れて殺風景になるが、お隣の山茶花が今を盛り盛りに咲いている。障子を開けるとガラス戸越しに窓に咲いて見ることがができる。いろいろな鳥が鳴きながら花を啄む景は至福の刻である。

平成25年 2月 ※プラスチックのおもちゃは「もやせるごみ」です。電池や金具は外しましょう。

地区名	越 河 齋 川 大 平	大鷹沢 白 川 小下倉	大鷹沢田中	福 岡 小 原	市街東北本線 東 側	鷹 巢	市街東北本線 西 側
ペットボトル (第1曜日)	5日(火)	4日(月)	1日(金)	7日(木)	1日(金)	4日(月)	6日(水)
びん類 (第2・第5曜日)	12日(火)	12日(火)	8日(金)	14日(木)	8日(金)	12日(火)	13日(水)
缶 (第3・第5曜日)	19日(火)	18日(月)	15日(金)	21日(木)	15日(金)	18日(月)	20日(水)
その他のプラスチック (第3曜日)	19日(火)	18日(月)	15日(金)	21日(木)	15日(金)	18日(月)	20日(水)
もやせないごみ (第4曜日)	26日(火)	25日(月)	22日(金)	28日(木)	22日(金)	25日(月)	27日(水)
紙 類	火	月	金	木	金	月	水
容器包装 プラスチック	5・12・19・26	4・18・25	1・8・15・22	7・14・21・28	1・8・15・22	4・18・25	6・13・20・27
もやせるごみ	火・金	月・木		月・水・木		火・水・金	
	1・5・8・12・15 19・22・26	4・7・14・18・21・25・28		4・6・7・13・14・18 20・21・25・27・28		1・5・6・8・12 13・15・19・20 22・26・27	

平成25年 3月 ※粗大ごみは集積所に出せません。自分で施設へ持ち込むか、収集許可業者にご相談ください。

地区名	越 河 齋 川 大 平	大鷹沢 白 川 小下倉	大鷹沢田中	福 岡 小 原	市街東北本線 東 側	鷹 巢	市街東北本線 西 側
ペットボトル (第1曜日)	5日(火)	4日(月)	1日(金)	7日(木)	1日(金)	4日(月)	6日(水)
びん類 (第2・第5曜日)	12日(火)	11日(月)	8日(金) 29日(金)	14日(木)	8日(金) 29日(金)	11日(月)	13日(水)
缶 (第3・第5曜日)	19日(火)	18日(月)	15日(金) 29日(金)	21日(木)	15日(金) 29日(金)	18日(月)	19日(火)
その他のプラスチック (第3曜日)	19日(火)	18日(月)	15日(金)	21日(木)	15日(金)	18日(月)	19日(火)
もやせないごみ (第4曜日)	26日(火)	25日(月)	22日(金)	28日(木)	22日(金)	25日(月)	27日(水)
紙 類	火	月	金	木	金	月	水
容器包装 プラスチック	5・12・19・26	4・11・18・25	1・8・15 22・29	7・14・21・28	1・8・15 22・29	4・11・18・25	6・13・27
もやせるごみ	火・金	月・木		月・水・木		火・水・金	
	1・5・8・12 15・19・22 26・29	4・7・11・14・18・21・25・28		4・6・7・11・13・14・18 21・25・27・28		1・5・6・8・12 13・15・19・22 26・27・29	

※不忘・川原子地区のもやせるごみは、毎週水曜日に収集します。

- ごみは、必ず当日の午前8時30分までに集積所に出してください。
- 「もやせるごみ」と「もやせないごみ」の袋は、中身がどちらか分かるよう袋の表に印を付けて出してください。
- 色付き部分は、祝日により収集日が変更になっていますのでご注意ください。
- 粗大ごみの収集運搬許可業者は「市民便利帳」に掲載しています。
- ◎ごみの分け方などの詳細は、「ごみの分け方と出し方 平成23年度～」をご覧ください。

今年(みどし)は「蛇」があてられています。ほかの年は、ネズミは「ネ」ですし、ウシやトラはそのまま、ウサギは「ウ」というように、実際の干支の名前であったり、略名で動物の名前に合わせたりしていますよね。しかし、蛇のときだけ「ミ」というのはなぜでしょうか？ その昔、平安朝のころまでは蛇のことを「ヘミ」と呼ぶのが正式だったようです。そのヘミを略して「ミ」と呼ぶようになり、ヘミのミがヘビと変わって今日に至っていると考えられています。また、古語ではヘミのほか「バミ」と呼ばれていたようです。バミはハミ、すなわち「咬む」から転じたともいわれています。「巴」という字も

蛇の形から生まれ  
た文字だそうで  
す。頭(コ)と尾  
(シ)が完全にく  
つつき、蛇が丸ま  
っている姿を表しているそうです(小冊子の受け売りです)。  
ひと口に蛇と言ってもその種類は多く、日本に分布しているだけで陸生蛇は32種、海蛇類では9種、合わせて41種。世界中では、現生種は2,700種が生息しているそうです。蛇は気持ち悪がられたり、嫌われたりしていますが、古来から縁起のよいものとして神聖化されてきた生き物でもあります。しかし、私にとつては、子どものころから苦手な生き物のひとつでした。野原や河川敷などを歩いていると、ニョロニョロと音もなく現れ、足元を通り去るあの姿。出会っただけで鳥肌が立ち、足がすくんでしまったものです。「私が

風間市長の「癸巳」

でも無理だったようです。そういえば兄もネズミ年生まれ。たぶん今でも私同様、苦手ではないかと思えます。その外見に、多くの人が嫌悪感を覚えてしまう蛇ですが、脱皮を繰り返しながら成長していきます。そのさまは、カニやエビなどの甲殻類や昆虫の脱皮とはいささか違う趣があり、強い生命力を感じます。親になるための儀式というわけがなく、古い皮をはぎながら、大きく、そして新たに生きていくからだと思えます。過去の考えにとらわれず新しく生きる。私たちがもかくありますので、復旧復興に弾みがつく良き年となることを願っています。